



SOS 見守りネットワーク連絡会報 第16号

認知症になっても安心して暮らせる

地域づくりを

梅雨前線が近づいてきました。お変わりなくお過ごしでしょうか。

京都で開催されたADI（国際アルツハイマー病協会）国際会議では、自然災害時の認知症対応を検討する「認知症と災害」と題されたシンポジウムが開かれ、東京都健康長寿医療センターの粟田圭一研究部長より、災害が認知症患者や高齢者に与える多大な影響と課題について、東日本大震災の実体験をふまえて発表がされました。

震災当時、逃げ遅れ犠牲になった多くの認知症高齢者、慣れない避難生活から認知症が悪化した方、避難所で周囲からの苦情があり、やむなく車での生活するようになった家族などがいたそうです。コミュニティの消失が深刻な問題であり、認知症の方とともに暮らせる地域社会をどのように作っていくか、認知症患者ひとりひとりを支援しながら、しっかり考えていかなければならないと粟田先生は伝えています。

お問い合わせ 連絡会事務局

郡山市地域包括ケア推進課

電話：924-3561

メールアドレス：

hokatu@city.koriyama.fukushima.jp

※会報は定期発行しています。

※加盟団体数 95（6月9日時点）

SOS見守りネットワークに行方不明者情報を配信

ネットワーク連絡会の皆様、いつも見守り等に御協力いただきありがとうございます。今年度に入ってから、5月16日、5月31日、6月5日、6月9日に行方不明者の情報配信をしました。三名の方は無事発見されましたが、6月5日に情報配信した方ははまだ発見されておりません。

引き続き、何か情報がありましたら、御一報いただけますようお願いいたします。

異常時通報についての御礼

「東北電力 郡山営業所」様から郡山市に連絡があり、電気メーター検針の際の郵便受けに郵便物がたまっている等の情報を提供いただき、その後の対応により無事を確認することができました。御協力ありがとうございました。

小中学校での認知症サポーター養成講座の開催について

郡山市内の小中学校で認知症サポーター養成講座の開催が広がっています。

今年度小学校12校、中学校2校で開催予定です。学校において、高齢社会の現状や認知症の人を含む高齢者への理解を深めるような教育を推進しております。



郡山市消費生活センターからのお知らせ

「民事訴訟管理センター」からの架空請求ハガキは無視してください！

過去に利用した業者への未払いがあると思わせ、それに関して「裁判所に訴状が提出された」「給与、資産の差し押さえ」などと脅して不安にさせたうえで、訴訟の取り下げ等について相談するよう、誘導しています。郡山市内でも相談が入っています。もし、このようなハガキをお持ちの方にお会いしましたら、ハガキが届いても、決して相手に連絡せず、支払わずに無視すること、不安を感じたり対処に困ったりした場合には郡山市消費生活センターに相談するようお願いいたします。 郡山市消費生活センター 電話：921-0333

郡山市ウェブサイト「認知症について」URL：

<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/213200/hokatu-nintisyu.html>